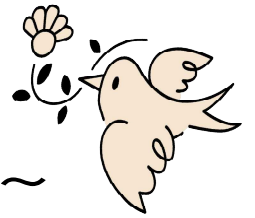


# 千葉県消費者学習交流会

(第38回千葉県消費者大会)

～消費者の立場から食料・TPP問題を考える～



日本の食料自給率(カロリーベース)は、昭和40年の73%をピークに下がり続け、平成23年に続き24年も39%となりました。食料自給率の問題は消費者の問題であり、日本の食構造の大きな変化につながっています。そしてこの問題は日本だけに留まることではなく、世界的視野に立つことも求められています。また、TPP(環太平洋パートナーシップ協定)についても、食・農業の分野だけでなく、医療や雇用など生活全般に関わる身近な問題として消費者は高い関心を持ち、見極めていきたいと考えています。

日本の食料事情の現状や課題、TPPの捉え方などを消費者の立場から学習し考えていきます。あわせて、会員団体の活動報告からもテーマにつながる問題を交流します。

日時 2014年2月14日(金) 10:30～14:40  
(受付10:00～)

場所 千葉市民会館 小ホール(地下1階) (裏面地図参照)

参加費 無料

## 午前の部

講演 「消費者の立場から食料・TPP問題を考える」  
講師 榊田 みどり 氏  
農業ジャーナリスト

## 午後の部

交流 会員団体の報告と参加者との交流

日本の食料事情・  
TPP問題・・・  
消費者として何をどう捉え  
たらいいのでしょうか？

※申し込み：千葉県民の方、個人、団体所属の方、どなたでも参加できます。

2014年2月7日(金)までに裏面申込み用紙に記入の上、FAXでお申込みください。

※連絡先：消費者団体千葉県連絡会事務局(千葉県生協連内)  
TEL 043-224-7753  
FAX 043-225-3459



平成25年度消費生活の安定及び向上に向けた県民提案事業  
主催：消費者団体千葉県連絡会/千葉県